



架け橋

第4号

(令和4年7月1日発行)

ホームページ: <http://mihashi-j.saitama-city.ed.jp/>

E-mail: mihashi-j@saitama-city.ed.jp

学校教育目標 : ゆたかに・かしこく・たくましく

再び「リュウゼツラン」の開花を迎えて

校長 芳崎 正道

昨年の学校だより7月号で御紹介したリュウゼツラン。昨年咲いたものはもちろん小さくしぼみ、子孫の株が根元の地上あちこちに顔を出しています。昨年は、学校だよりを御覧になった地域の方々が、「リュウゼツランはどこにありませんか。写真を撮ってもよろしいでしょうか。」と大いに関心を寄せてくださいました。すると、今年度は、また別のリュウゼツランが、日に日に、竜が天に昇るがごとく、グングン成長しています。開花が近いことを私たちに伝えるとともに、創立75年を迎えた本校をお祝いしてくれている気がします。



リュウゼツラン (昇降口前)

最近、地域の方々から、お褒めの言葉を複数いただきました。朝礼で生徒の皆さんには御紹介したものです。

一つは、長年、防犯ボランティアを日々欠かさず行ってくださっている方から、「三橋中学校の生徒は、みんな、実に気持ちの良いあいさつを元気にしてくれる。これは、本当に素晴らしい。今後ともぜひそういう学校・そういう生徒であって欲しいです。」というお褒めの言葉をいただきました。学校を挙げて「挨拶名人」など、あいさつに関しては重視している取組、地域の方に認めていただけるのは何よりのことをありがたく受け止めさせていただきます。

もう一つは、地域の方が散歩中、飼い犬が逃げ出し、それを見た本校の生徒が、追いかけて捕まえてくれたという話です。

子どもたちに、自然にすがすがしいあいさつができる心や、困った人を見かけたら助けなくちゃという優しい気持ちが育ってくれば、これに勝る喜びはありません。今後とも、子どもの心が健全に育つよう、教職員一同、教育活動に邁進していきます。

さて、6月27日に史上最も早い梅雨明けとなって、いきなり連続で猛暑日・熱帯夜の真夏となってしまいました。セミしぐれも全くなく、自宅近くの朝顔もまだ咲いていません。夏の風物詩と言えるカブトムシたちも、大半は、まだ地中で蛹の状態でしょう。自然界の動植物は「おいおい、まだまだ夏の到来の準備ができていないよ」と言いたいのではないのでしょうか。

私たちも、同じように、暑さへの準備がまだまだ整っていなかった人の方が多いような気がします。少しずつ、時間をかけて、体が暑い環境に慣れていきます。それを『暑熱馴化(しよねつじゆんか)』といいます。『暑熱馴化』をすることで体温が上がりにくくなったり、汗でのナトリウム喪失量が減ったり、水分補給による体液量の回復がしやすくなり、熱中症の予防につながります。おそらく大半の人の体内で梅雨明けを機に『暑熱馴化』を始めたのではないかと思います。俗に「梅雨明け十日」と言います。梅雨が明けた後の十日間は、安定した夏の青空が続くといいます。まさに夏本番です。

期末テストも終了し、7月。早くも一学期の学期末を迎え、学期の振り返り・まとめの時期となっています。

真夏の猛暑に負けず、常に、自らの取組を振り返り、そこから学ぶとともに、「成果」と「課題」を今後を生かす視点・姿勢を身に付けていって欲しいと思います。